



国際ロータリー第2790地区  
The Rotary Club of Yachimata  
**八街ロータリークラブ週報**

<http://www.joy.hi-ho.ne.jp/yachimata/rc/>

例会場 八街商工会議所 3階 大ホール

毎週水曜日 12:30～13:30

電話 043 - 443 - 3021

FAX 043 - 443 - 7221

創立 1966年(昭和41年)5月22日



**世界に希望を生み出そう**

RI会長：ゴードン R. マッキナリー  
South Queensferry RC (スコットランド)

会長 小久保 和子 ・ 会長エレクト 川崎 堯信 ・ 副会長 小澤 孝延 ・ 幹事 小澤 孝延

**第58巻 第14号 通巻 第2698号 合併号 2024. 1. 17発行  
第2699号**

第2697回 2023年12月13日例会報告

**【出席報告】**

**SAA 福田 守**

**【会長挨拶】**

**会長 小久保 和子**

例会	出席計算会員数	出席	欠席	出席率%	MU	修正出席率%
12/13	23	19	4	82.61		
11/29	23	20	3	86.96	1	91.3
会員総数 23名						
( 名誉会員 3名 ・ 出席免除会員 1名 )						
通算出席率84.73 %						
11/29メイクアップ1名・綱島、増田会員、 笹川会員、竹村会員(理事会)						



点 鐘 会長 小久保 和子

ソ ン グ 手に手つないで

**【ニコニコボックス】**

◇息子が結婚しました。 竹村 信彦会員

◇孫(女の子)が生まれました。小久保 和子会長

皆さん、こんにちは。12月は疾病予防と治療月間です。誰にとっても「健康であること」は何より大切。でも、基本医療を受けられない人は世界で4億人と言われています。質の高い医療を受ける権利はすべての人にあると、私たちは信じています。世界で数百万人が病気によって苦しみ、貧困を強いられています。私たちが疾病の予防と治療に力を注ぐのは、このためです。病気の蔓延や医療不足に悩む地域社会に、世界中のロータリー会員は、人びとがより良い医療を受けられるよう支援をしております。ロータリーによる活動の例⑥きれいな水の提供。ガーナでは、他団体と協力して国内全人口の80%以上にきれいな水を提供し、ギニア虫感染症を予防しています。⑥HIV感染の減少。リベリアでは、妊娠初期の女性たちへのHIV検査を支援しています。2年間で

HIVの母子感染を95%減らすことをめざして、出産前ケアを推進しています。●ポリオの根絶。私たちは、ポリオ（小児まひ）を世界から根絶する活動で、大きな役割を果たしてきました。懸命な活動により、世界のほぼすべての国からポリオがなくなっただけでなく、エボラ出血熱などのほかの疾病の追跡システムにも活用できるインフラが構築されました。ポリオ根絶の実現まであと少しです。八街ロータリークラブでは、身近な活動としましては、ポリオの根絶運動があります。今後も継続して参りたいと思いますので、皆様ご協力をお願いいたします。

12月も半ばになりました。暖冬と言われておりますが、朝晩は冷え込んでおります。体調を崩さないようにお過ごし下さい。ありがとうございました。

## 【幹事報告】

幹事 小澤 孝延



◎シンガポール国際大会千葉ナイトのご案内  
日時：2024年5月25日(土) 18時～  
場所：ザ・クリフォード・ピア

◎日経広告掲載事業会計報告と御礼

◎千葉黎明高校より学校誌



## 【米山寄付表彰】



第1回マルチプル 増田 繁会員

## 【年次総会】

会長エレクト 川崎 堯信



本日はクラブ細則第3条第1節3項により、指名委員会で選考された理事及び役員の候補者を発表致します。

### 《役員候補者》

会 長	川崎堯信会員
会長エレクト	小澤孝延会員
幹 事	林 政男会員
副会長	林 政男会員
会 計	笠井富雄会員
S A A	西村頼子会員
直前会長	小久保和子会員

### 《理事候補者》

竹村信彦会員	(会員増強・退会防止)
福田 守会員	(職業奉仕委員長)
木村利晴会員	(社会奉仕委員長)
笹川英一会員	(青少年奉仕委員長)
綱島清司会員	(親睦・プログラム委員長)
鈴木慶夫会員	(副幹事)



こんにちは！(株)Garage Bu-Buの矢作です。今回、突然卓話のお話がきました。正直そのような事をするような身分でもないし卓話が出来る、能力もあいにく持ち合わせてませんが、川崎さんや萬来さんに「自己紹介などで大丈夫だよ」と言われたのもあるので、私がどのような人間でどのような事を考えているのかをお話出来たらと思います。

私は今月の12月25日で38歳になります。38年間の中で大勢の人に注目され、私の話を聞いてもらう事など両手で数えるほどです。その中の6割7割はロータリークラブに入会してからです。なので正直に言えば恥ずかしやら、嫌だなと思う一方で、心の中ではちょっと楽しいとか、大先輩を前にして話を出来る事が優越感って言うていいのかわからないですが、変な心地良さがあります。こんな感じで色々な感情がごちゃ混ぜ状態でちゃんと自己紹介が出来るか心配ですが、お話をさせて頂きます。

私は約10年前に家の軒先でひっそりと車のバンパーなどのキズを補修する仕事をメインに独立をしました。独立する前は钣金塗装工場に務めており、社長と従業員に溝があり、その中で私は間に挟まれ毎日両者の繋ぎとして、両者の機嫌を取りながら、技術を覚える為に勉強していました。

とある日、怒りの矛先が自分に向き、最終的にはその会社を退職することになりました。当時、私は初婚で妻はバツイチ子持ち、子供が2人いました。血は違うけれども自分の子のように可愛がっていました。家族が本当に好きでした。私は若い頃両親が離婚をして兄弟バラバラでした。私は末っ子だったので、家に帰ってきても母親は仕事、兄・姉はアルバイトや遊びで、1人で留守番などよくあり寂しい想いをした経験もあり、子供達にはその

ような気持ちにはさせたくないと思い、自宅で仕事をすれば、子供たちも寂しくないのではないかと安易な考えで独立をしようと決意しました。

妻は猛反対しました。もう一度就職をしてほしいと。世間一般的には再就職だと思います。子供もいますし、独立して食べていける保証もないので。私はそれでも何とか妻を説得して最低でも勤めていた時の給料分を3ヶ月続けて稼げば続けてもいいと許可をもらい、スタートしました。何だかんだでノルマを達成し、妻もダメとも言えず、晴れて独立して仕事をはじめました。

しかし、そこからが地獄への一歩でした。妻は佐倉高校を受験し惜しくも受かりませんでしたが、頭もよく理数系が得意で、社長になってもらい、お金の管理などをしてもらっていました。それ以外の業務はすべて私が行い、営業・作業をしていました。

開業当時、必要最低限のお金で開業をしたので、仕事をする上で様々な問題が起こり、自宅での作業も限界まできてしまい、作業する場所を移動する決断し、今現在の八街市吉倉の工場に移ってきました。

当時は工場も広く、一人で作業する分には十分すぎるぐらいの広さだったので、半分のスペースでの賃貸契約をしていたのですが、続けるうちに、すべてのスペースでの契約をしてほしいとのことで、やむなく契約することになり、想定していた出費が大幅に増えてしまい、今まで以上に収入がないと妻や子供たちに迷惑をかけてしまうと思い必死に働きました。毎日毎日、真夜中に帰宅してシャワーを浴び、仮眠をとって、子供たちよりも早く家を出て、仕事をしている状態がしばらく続きました。

妻は結婚する前から精神病で境界性パーソナリティ障害候群と言う病をもっており、無差別ではないですが人に危害を加えるような症状、幻覚や幻聴などがあり、私が家にいない時間が増えた事により、その症状が悪化していききました。

ちょっとでも早く帰ると罵声や、物が飛び交う音、子供の泣き声、家の中は文字通りの地獄絵図な状態でした。とある日、妻と連絡が取れず嫌な予感がして、家に戻ると妻は病院から処方された薬を大量に服用し意識不明となり、すぐさま救急車で病院に運ばれました。入院となり2日後に意識が戻り、その後は特に何事もなく退院しました。

しかし、退院後も罵声などの症状は変わらず、

さらに症状も悪化し私にまで暴力を振るうようになりました。背後から蹴られギックリ腰になったり、顔面を殴られ陥没骨折をしたりと、身体面だけでなくメンタル面でかなり凹みました。

そんなこんなで私は忙しくて帰れないのではなく、帰りたくないという気持ちの方が強くなり、妻と顔を合わさないタイミングをみて、帰宅をしていました。その状態で夫婦関係が上手くいく訳もなく、その時点では実の子も2人いて、4人の子供が居ましたが、妻から離婚を告げられ、妻自体も精神崩壊しており、まともに話すことすら出来ず、離婚に至りました。

その時、妻は会社のすべての収入を管理していたので、離婚と同時に私の全財産が80円になってしまい、私名義で賃貸契約していた自宅も支払いが出来そうになかったため、解約をしました。業者への支払いは生命保険の解約などで、お金を工面して事が済みました。その頃には、私自身、生きる希望などすべてを失い人生に絶望していました。

やがて、生きていても仕方がないと想い、自殺未遂を2回しました。2回とも死にきれず病院で目が覚め、ベットの上で天井を向いた状態で、手足を拘束された状態でいました。トイレに行きたくなくてもベルで看護師を呼び、尿瓶でさせられ、看護師さんからも白い目で見られ、生きているが、こんな状態であれば死んでいた方が良かったと思えるぐらいの生き地獄でした。

退院した後も1～2ヶ月程、実家に保護をされているような状態で生活をしていたのですが、母親や姉から廃人みたいだと言われ、人間の形はしているが、魂が抜けて蠟人形みたいな状態でした。

その頃私の事を心配して手を差し伸べてくれた女性がいました。男女関係で手を差し伸べたのではなく「助けてあげないと」と思ったらしく、自身の住んでいるアパートの使っていない部屋があるので、そこで面倒をみると母親に直談判してくれ、衣食住すべての面倒をみてくれました。私はあまりにショックな経験をしていたせいもあり、車すら運転が出来ない状態だったので、会社までの送り迎えまでしてくれていました。

その女性が、何から何まで私をサポートしてくれたお陰で少しずつ仕事も出来る様になり、私の精神も回復していきました。半年程で、アパートを借られる程の資金が出来、1人暮らしをする事になりました。

そこからは、1日24時間ある中、8時間しか働いてはいけないルールなど私にはなかったもので1日16時間働こうと思いました。その状況下でもなぜ廃業を選ばなかったのか、それは離婚と同時に子供とも一切会うことが許されず、親の都合で子供達には辛い想いをさせ、私の都合で会いたいと思っただけでいいと考えたので、せめて子供達が私に「会いたい」と思ってもらえた時「父親はどこにいるの？」ってなったら、今の場所で仕事をしていれば、いつかは会いに来てくれるかと思い、会社を続ける事にしました。私にとって会社とは、今は会えない子供との唯一の繋がりでした。なので、何としてでも会社を潰すわけにはいけないと、毎日必死に働いていく中で、もしこのまま過労死とかで死ぬたら楽だと思った時期もありました。でも崩壊はしてしまったが、家族・子供・自分の為にはじめて会社をそのような事で終わらせたら、自分の中で悔いが残ると思うし、支えてくれた人にも申し訳ないと思うようになりました。

こんな事を考えられるようになったのも、廃人になっていた時に、助けてくれた女性や仲間たちです。彼等とは現在も親交があり、私よりも皆年下なのですが、ご飯を食べに連れていくと「先輩だけど、あんなお金が無く、ホームレスみたいだった人にご馳走されるなんて、申し訳ない」と言われ、割り勘になる事も多く、食へに行く度、私が感謝を伝えるのが恒例となり、仲間達もいい意味で、恒例があるからめんどくさいと笑いながら言われる事もあります。

そんな仲間達のお陰もあり、元妻や子供達に対して懺悔の気持ちから、死ぬまで一人で生きていくと思っていた気持ちも穏やかになり、一人で生きていく辛さも感じていても、仲間からの勧めでマッチングアプリで婚活を始め、いろいろな人と出会いました。

正直、マッチングアプリでなんかいい人など見つかるわけがないと思いながらも、何だかんだと言ったら怒られてしまいましたが、今の妻と出会い、交際3ヶ月でのハイスピード再婚に至りました。

今の妻はありきたりな感じですが、とても優しく、ユーモアがあり、何より前妻の出来事や子供達の事をよく理解してくれ、「そんな考え方が私らしい」と言ってくれました。

そんな優しい妻は、私には縁もゆかりもない銀座のルイヴィトンと言う誰でも知っている高級なブランドショップに勤めていました。妻は茨城県牛久市に住んでおり、そこから銀座まで電車通勤していました。



よく仕事が終わると電車で私の家まで来る素振りをしていたので、私は恥ずかしながらも迎えに行くと言って銀座まで迎えに行っていました。もちろん、それなりの時間で仕事を終わらせ、迎えに行き自宅に帰り夕ご飯を一緒に食べて相手の家まで送る事をしていました。

一見、仕事をして銀座まで迎えに行きご飯を食べ、牛久まで送る行動は大変そうに思えるのですが、私にとって、それまで周りからは「体調崩すよ」と言われるぐらい仕事をしていた時に比べたら、いい休息でした。

顔色が悪いとか不健康と言った言葉をあまり言われなくなり、自分自身も心と体が回復している実感がありました。時間は無限にあると自分に言い訳をして、ダラダラと作業をしていたのが、愛する人に会いに行く単純な理由だけで、日中の仕事をテキパキこなし、時間になったら準備をして迎えに行くなど、こんなにも変わるのだと思いました。

クルマ屋なので、乗る車は多くあり、色々な車で迎えに行きましたが、田舎者なので銀座の煌びやかに光る建物や街頭に似つかぬ車で迎えに行くと、妻は私を見つめるや否や走ってきて「恥ずかし！恥ずかし！」と笑いながら車に乗り込み、銀座をあとにしていました。今でもその頃の記憶が鮮明に蘇ってきます。

妻も結婚を後悔はしていないと言っており、こんな私と結婚してもらい改めて感謝しています。妻が私に言ってくれた、「私らしい」言葉が救いとなり、その頃あたりから、離婚した当時の人生に絶望し、「他人は信じられない、信じられるのは自分とお金」という考えの自分に打ち勝つ事が出来ました。時たまその頃の感情などが蘇る事もあるのですが、打ち消す味方が出来ました！

それは、妻、そして会社です。

会社は、今まで一人でなんでもこなしてきたのと、どうしても自分以外の人を信用することが出来ずに、なんでも自分でしてしまうので、いつもてんでこ舞いでした。忙しくている姿をお客さんは見ているのですね。「矢作さんはいつも忙しそうで、仕事を頼みづらい」なんて言葉もチラホラ。

開業した頃から、商売の知識など0に近い状態で今までできてしまっていて、金額が安ければお客さんは喜んでもらえると思い、他所のお店よりも安く仕事をしていたこともあり、会社は車だけで賑わっていました。

周りからは「儲かっているね」とよく言われますが、決してそんなことはありませんでした。

やってもやっても、お金は増えず毎日疲労困憊でした。このままではいけないと思い、色々な事を考え、事務員や従業員を入れようと思いました。

最初は仲間が増え楽しい感情がいっぱいで、仕事をしていましたが、楽しいだけでは会社は生きていけないと感じ、しばし従業員を怒鳴ったりすることもありました。そうすると、やはり会社の雰囲気は悪くなりました。そして、期待しているほど売り上げも上がる訳でもなく、何か足りないと感じつつも仕事をしていました。

従業員を入れてから積極的にGoogleクチコミを書いてもらおうと力をいれていて、評価を見ていた時、私や会社の評価が多く、「アットホーム・話しやすい」などとあり、その中でもアットホームと言う言葉に私は足りないものはこのことかと思い、会社が足りていないものではなく、私に足りていないと思いました。

私は「信じられるのは自分とお金」と考えがある人間だったので、従業員をただのコマでしかないと考えていたかもしれません。もっと従業員の事を想い、家族の様に楽しく、時には厳しく接する様にしました。そうすると、不思議なことに来たことないお客さんが来店するようになり、それに伴い働きたいと言う人も出てきました。働きたい動機を聞くと、やはり「アットホームで従業員達が楽しそう」と言う理由でした。

今では従業員は4人となり、私にとって会社は第二の家族と思っています。何かプライベートの大事な話をする訳ではないですが、一緒に仕事をしてもらえるだけで、安心感があります。そんな会社で、信頼できる仲間と一緒に仕事をしています。

今回は私の出来事や身の回りの出来事を紹介してもらいました。まだまだ、人生はあると思うのですが、今こうして、皆さんにお話が出来たのも助けてくれた人達のお陰だと思っています。助けてくれた人たちは皆共通して言えるのが、見返りを求めていないことだと思い。私の様に人生に苦悩したり、困っている人がいれば、助けられるような人になれることが、今まで支えてきてくれている人達に対してのすこしでもの恩返しになるかと思いました。

この度ロータリークラブに入会し、率直に申し上げると、研修やほか他の方のお話を

聞かせてもらい度々「辞める・騙された」などの言葉を耳にするのですが、一番印象に残ったのが、先日お話を聞いたガバナーの鵜沢さんの内容で「入会3年未満で退会した人の意見」で、私はほぼ内容に当てはまってしまい妙に納得出来る感じでした。だからといって辞めたい訳ではありません。

大変失礼にはなってしまいますが、勝手ながら私の中で小久保会長は私にとってお姉ちゃんみたいな存在で、男性比率が多いのですが皆さんがお父さんみたいな存在なのです。強いて言えば第三の家族が出来たような気持ちです。とてもうれしくも想い、八街ロータリークラブの輪の中に入れてよかったと思っています。その中で色々な形で人助けが出来たらいいなと思っています。正直に言えば、人助けをする前に私を助けてくださいと言いたいぐらいですが、

そこはグッところえて、これから皆さんと会話していき私はロータリークラブで何をすべきか何ができるのかを見つけ出していきたいと思っています。

フィクションの様な私のまだまだ短い人生の営みをお話しましたが、これからの人生をより一層豊かになるよう、ロータリークラブの皆さんと共に(株)Garage Bu-Buの矢作をよろしくお願い致します。

補足にはなりますが、卓話内でお話は出来ませんでした。元妻の内容をお話しましたが、決して悪くは思っておらず、彼女が居たからこそ今があるとも思っています。彼女にもとても感謝しております。

そして、今回の卓話を聞いてくださった方々からよかったと言っていただきとても嬉しく思います。以上、ご清聴ありがとうございました



# クリスマス例会

## inヒルトン成田



第2698回 2023年12月20日例会報告

【出席報告】

	出席計算 会員数	出席	欠席	出席 率%	MU	修正 出席率%
例会						
12/20	23	13	10	56.52		
12/ 6	22	14	8	63.64	6	90.91
会員総数 23名						
( 名誉会員 3名 ・ 出席免除会員 1名 )						
通算出席率84.73 %						
12/6メークアップ6名・福田会員、木村会員、増田会員、笹川会員、小澤会員、林会員(理事会)						

ご 家 族 小久保和子会長ご子息

荒木 由光会員ご夫人

矢作 安希喜会員ご夫人

〃 従業員

点 鐘 会長 小久保 和子

お 客 様 神崎 誠様(成田RC)

土井 豊彦様( 〃 )

鈴木 孝G補佐様(白井RC)

伊藤 喜典会長様( 〃 )

水谷 義一様( 〃 )

平川 進様( 〃 )

藤田 奈緒様( 〃 )

村上 亮会長様(富里RC)

緒方 維幾幹事様( 〃 )

原 幸司様( 〃 )

米山奨学生  
ドティトゥイ チャンさん



小久保会長挨拶



伊藤会員乾杯挨拶



鈴木G補佐ご挨拶



伊藤喜典会長ご挨拶



村上亮会長ご挨拶



原幸司次年度幹事長ご挨拶





## 【指名委員会報告】

会長エレクト 川崎 亮信

前回例会にて発表いたしました次年度役員理事の件につきましてご意見ございませんでしたので、発表の通り決定をさせていただきます。



広報・公共イメージ向上委員会・萬来 謙一・林 政男